

# 学 習 センター だより

No.23

平成21年(2009)2月15日発行  
発行・編集：総合学習センター  
公民館 NO.632  
図書館だより NO.359

**市立飯山図書館**  
〒389-2253 飯山1421  
電話：0269-62-1118  
URL：http://tosho.city.iiyama.nagano.jp

**飯山市美術館**  
〒389-2253 飯山1436-1  
電話/FAX：0269-62-1501  
URL：http://muse.city.iiyama.nagano.jp

**いいやま女性センター未来**  
〒389-2253 飯山1431  
電話/FAX：0269-62-0543  
E-mail：center-mirai@city.iiyama.nagano.jp

**飯山市ふるさと館**  
〒389-2253 飯山1434-1  
電話/FAX：0269-67-2030  
E-mail：furusato@city.iiyama.nagano.jp

**飯山市公民館**  
〒389-2253 飯山1436-1  
電話：0269-62-3342  
FAX：0269-62-5940  
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp

飯山公民館 電話：62-3342  
FAX：62-5940  
秋津公民館 電話/FAX：62-2330  
木島公民館 電話/FAX：62-0555  
瑞穂公民館 電話/FAX：65-2501  
柳原公民館 電話/FAX：62-5562  
富倉公民館 電話：67-2136  
FAX：67-2211  
外様公民館 電話/FAX：62-1029  
常盤公民館 電話/FAX：62-3200  
太田公民館 電話/FAX：65-4579  
岡山公民館 電話：69-2010  
FAX：69-1800

## 平成21年度飯山市公民館事業基本方針(案)を確認

### 就任者

1月20日(火)飯山市公民館において、市内各地区館長及び主事参集のもと合同会議が開催されました。  
会議の冒頭では、本年1月1日付で地区公民館長に就任された2名の方々へ、土屋稔飯山市教育長より辞令交付が行われ、共に公民館活動を支えていただくこととなりました。  
会議では、市内全公民館の活動指針となる「平成21年度 飯山市公民館事業の基本方針(案)」が飯山市公民館長より示され、それぞれ内容を検討しながら平成21年度事業を計画するにあたっての方針(案)が確認されました。

### 退任者

平成19年1月1日より2年間、瑞穂公民館長をお務め頂いた眞島昭一さん(小菅)



### 就任者

◇木島公民館長 山崎信男さん(吉)  
\*前公民館長 常田元之さんの急逝に伴い、平成20年11月1日より就任。  
◇瑞穂公民館長 大平康雄さん(中組)  
◇太田公民館長(再任) 宮澤章榮さん(蕨野)

### 基本方針(骨子・案)

- ①「飯山らしい社会教育」を進める第一歩として、体験も交えて飯山市を知る学びを進める。特に、地域の人材発掘・活用と、世代間の交流ができる学びの場を工夫する。
- ②地域に役立つ公民館を目指し、課題の特定や、内容によっては、学びから解決に向けた行動までを想定した事業を市民とともに進める。子育て、高齢社会、地域医療、災害(防災)対応、環境などの他、スポーツ振興につながる事業や新幹線とまちづくりに向けた学びを進める。
- ③社会教育関係団体(利用団体など)の連携組織化を進め、パートナーシップで生涯学習を支え、発展させる。
- ④広範な参加者増に向けた取り組みを強化する。  
・地区公民館との連携を密にし、課題や解決策とともに探る。事業の共催や本館事業の地区館活用なども含め、各地区からの参加者増を図る。  
・近隣自治体の公民館事業との相互利用を進める。
- ⑤関係行政部局、団体との連携をさらに進める。共催とすることによって、より内容の充実した事業展開へつなげる。
- ⑥地区館、集落館活動のさらなる活性化に向けて、本館組織を含む研究・専門部員の交流・学習会  
：本館専門部員の任務の明確化。  
\*基本方針は、運営審議会に諮って正式決定されます。

### 降雪時駐車場使用についてのお願い

総合学習センター(飯山市公民館・市立飯山図書館・飯山市美術館・いいやま女性センター未来・飯山市ふるさと館)の駐車場使用につきましては、夜間(夜10時以降)及び早朝の駐車は除雪作業の妨げになりますので、ご遠慮ください。  
また、特別な理由により駐車される場合は、飯山市公民館(電話⑥3342)まで申し出てください。

## 飯山市美術館

### 故郷飯山を限りなく愛した日本画家

## 長谷川青澄さんの『春の院展出品作品3点』を新たに収蔵!

郷土出身の日本画家・長谷川青澄さん(名誉市民、日本美術院同人評議員)の日本画3点《去年今年》《月呀ゆ》《朝霧大原女》を、このほど、画伯のご夫人の長谷川由子様(市出身、東大阪市在住)から飯山市へご寄贈いただきました。  
これらはいずれも、長谷川画伯が生涯を賭けて最も心血を注いだ院展への出品作品で、逝去された平成16年の出品作など最晩年に描かれた極めて貴重な作品です。  
作品は、今月から市美術館で常設展示しています。展示では、長谷川画伯の他の大作や市ゆかりの芸術家の作品も併せて展示していますので是非ご覧下さい。(お問い合わせはTEL⑥1501美術館まで)



△1月9日、長谷川由子様へ足立副市長から感謝状が贈呈されました。

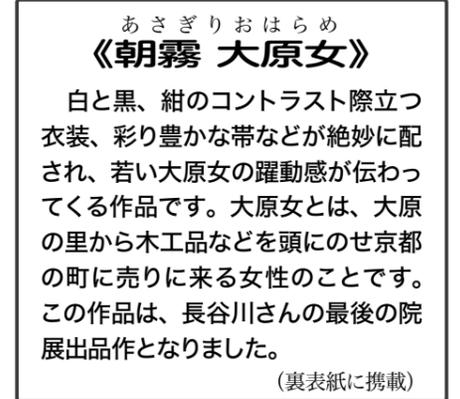
つきさ  
**《月呀ゆ》**  
第57回春の院展出品(平成14年)

月の澄み切った光の美しさを、月そのものを描くことなく表現した作品です。青白い光に満ちた画面には、婦人の目と猫の目、そして背景の松と羽織の松の柄が象徴的に描かれています。



あさぎりおはらめ  
**《朝霧 大原女》**

白と黒、紺のコントラスト際立つ衣装、彩り豊かな帯などが絶妙に配され、若い大原女の躍動感が伝わってくる作品です。大原女とは、大原の里から木工品などを頭にのせ京都の町に売りに来る女性のことです。この作品は、長谷川さんの最後の院展出品作となりました。  
(裏表紙に掲載)



こぞことし  
**《去年今年》**  
第56回春の院展出品(平成13年)

着物姿の女性が静かに正座しているごく日常的な様子が描かれています。長谷川さんが敬愛していたという俳人・高浜虚子の詠んだ句に『去年今年貫く棒の如きもの』がありますが、時が流れても貫かれているものは変わらないという信条が、自然体にして凛とした女性の姿に感じられます。



お知ろせ

市美術館では2階ギャラリイ等を市民の芸術団体に開放(有料)しています。  
(お問い合わせはTEL⑥1501美術館まで)

## 総合学習センター 冬期趣味講座スタート

飯山市総合学習センターでは、昨年度から始めた試みとして今年度も「冬期趣味講座」を計画したところ、募集した全ての講座を開講することができ、多くの方が新たな挑戦をスタートしました。



ジョーのおすすめ 貸し家庭料理&おやつ作り

砂糖の芸術! シュガークラフト

もっとハワイに近づこう “ハワイアン・フラ”

やさしい! 手作り布ぞうり

水墨画を楽しむ

世界を巡る歌の旅

初心者対象!! 健康麻雀教室